

泉

IZUMI

防災活動と労働安全衛生活動

東洋インキ株式会社 東北営業部 菅原 亮

当社は1995年に仙台市泉区の泉パークタウン工業団地に事業所を置き、東北エリアでの事業活動として印刷インキ及び化成品の販売を行っています。従業員は倉庫外注業者等を含め約20名で事業活動を行っています。

防災安全衛生面では、危険物である溶剤等を保管する倉庫やインキ調色取扱所を所有しており、地震、火災、労働災害を防止するための対策を実施しています。まず、製品が保管棚から落下することによる漏洩やこれに伴う火災を防ぐために落下防止ガードを設置しており、地震による被害を最小限に抑えることができます。実際に2011年の東日本大震災では18ℓ缶等、数缶だけ隙間から落下しただけで済んでいます。

また、火災を防止するために、定期的に消火・インキ及び溶剤漏洩防止訓練を行っています。全社員が火災が起こった場合の対応策や避難経路を確認し、迅速に対処できるようにしています。さらに、インキの調色作業上で静電気による火災を防ぐために、定期的な静電気を滞留させない導通テスト、規定値以下の有機溶剤濃度の作業環境を保ち、日常的に整理整頓と始業

前の点検を実施しています。機器や設備の異常を早期に発見し、修理や保守を行うことで、異常状態を放置せずに安全を確保しています。さらに、個々の作業員に対しても安全教育を実施しています。作業の際の注意点や安全ルールを指導し、安全意識を高めています。また、必要な安全用具や保護具の使用も徹底しています。例えば、溶剤を扱う際には防毒マスク、防護眼鏡、手袋、エプロンなどの保護具を着用することを義務付けています。これにより、皮膚への刺激や有害物質の吸い込みを防止し、作業員の健康を守っています。

弊社は、防火と労働安全に対する取り組みを重視しています。従業員の健康と安全を守るために、作業環境の維持や安全教育と共に適切な労働時間の確保などを実施しています。従業員一人ひとりが安全に働ける環境を提供することで、生産性の向上や組織の発展に繋がっていきます。防災と労働安全衛生に関する取り組みは、社会的な責任としても重要な課題です。顧客からの信頼を高めるためにも、労働環境、安全性、品質に対する取り組みを継続し品質の向上と顧客満足度の向上に取り組んでいきます。

